

## 建築用シーリング材2成分形ポリサルファイド系



# ボンドPSシール

(カラーマスター方式)

JSIA F★★★★  
認定番号003024

「ボンド PSシール」は、ポリサルファイドポリマーを主成分とする高性能建築用弾性シーリング材です。建築用シーリング材としての各種性能を高度に保持しており、色調安定性・意匠性に優れた性能を備えています。露出目地への使用に最適です。

### ■用途

- 石、タイル目地 ●窓枠まわり ●RC造の各種目地
- プレキャストコンクリート板の各種目地
- 各種パネル、ボード目地 ●ガラスまわり

### ■特長

- シーリング材自身とその周囲をほとんど汚さず美観性に優れます。
- 良好な打ち継ぎ接着性を有します。
- クレーターが発生しにくくより美しい仕上がりになります。
- JIS A 5758のクラスはF-20LM、G-25LMを取得しています(耐久性区分は9030)。
- 低温硬化性に優れ、施工気温に応じた作業性および硬化性を有します。
- シリコン系シーリング材や変成シリコン系シーリング材との同時施工はさけてください。

### ■適用プライマー

項目		ボンド シールプライマー	
		#3	#9
タイプ		1液型	1液型
外観		無色透明液体	淡黄色透明液体
組成	樹脂	シラン系	ウレタン樹脂系
	溶剤	ノルマルヘキサン	酢酸エチル
比重 (23℃)		0.69±0.03	0.99±0.05
粘度 (mPa·s (23℃))		6以下	50以下
不揮発分 (%)		4.8±1.5	31±3
乾燥時間	5℃	60分	60分
	23℃	30分	30分
	35℃	15分	15分
シーリング材の充てん可能時間 (23℃)		乾燥後から8時間	乾燥後から8時間
開封後の処理 (不使用時密栓)		当日内に使い切る	当日内に使い切る
有効期間 (冷暗所貯蔵)		6ヵ月	6ヵ月
包装・容量		300g缶入 (12缶/ケース)	500g缶入 (12缶/ケース)
主用途		ガラスまわり用	汎用
備考		第四類第一石油類	(※) 第四類第一石油類

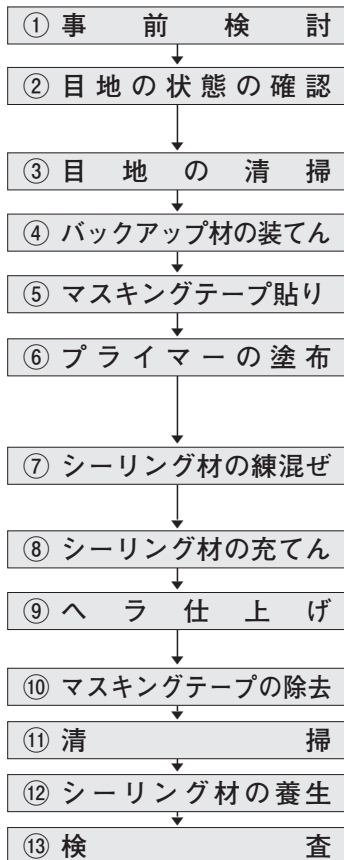
※：直射日光により黄変しますので、プライマーのはみ出しに注意。

### ■性状・性能 (JIS A 5758及びJIS A 1439に基づく試験結果)

項目		ボンド シーリング材		ポリサルファイド系		
		ボンド PSシール				
外観	基剤	ペースト状				
	硬化剤	液体				
	カラーマスター	ペースト状				
混合比 (質量) 基剤：硬化剤：カラーマスター		100：18：3.5				
JIS A 5758	クラス		F-20LM	G-25LM		
	スランプ (50℃、mm)	縦	0	0		
		横	0	0		
	弾性復元率 (%)		76	75		
	引張応力 (N/mm <sup>2</sup> )	23℃	0.1	0.1		
		-20℃	0.2	0.2		
	定伸長下での接着性	23℃	破壊なし	破壊なし		
		-20℃	破壊なし	破壊なし		
	圧縮加熱・引張冷却後の接着性		破壊なし	破壊なし		
	水浸せき後の定伸長下での接着性		破壊なし	破壊なし		
高温及び湿潤状態でのガラス越しの人工光暴露後接着性		—	破壊なし			
体積損失 (%)		7.2	7.2			
耐久		9030				
可使時間 (時間)	製造月	1, 2, 11, 12	3, 4, 9, 10	5, 6, 7, 8		
		5℃	4	—	—	
		23℃	2	3	4	
		35℃	—	—	2	
タックフリータイム (指触乾燥時間) (時間)	5℃	18以内	—	—		
	23℃	18以内	18以内	24以内		
	35℃	—	—	18以内		
比重		1.34				
JIS A 1439	被着体	条件 (23℃)	50% 引張応力 (N/mm <sup>2</sup> )	最大引張応力 (N/mm <sup>2</sup> )	最大荷重時の伸び (%)	
						養生後
	アルミニウム	加熱後	0.09	0.24	500	
		水浸せき後	0.10	0.29	800	
	モルタル	養生後	0.12	0.30	600	
		加熱後	0.10	0.27	430	
	ガラス	水浸せき後	0.10	0.27	800	
		養生後	0.12	0.31	630	
		加熱後	0.10	0.23	390	
		水浸せき後	0.10	0.29	830	
			促進暴露後	0.11	0.42	460

※表中の数値は標準値を示しています。数値は規格値ではありません。

■施工方法



- 目地の納まりの検討（形状・寸法、2次排水処理、施工条件など）を充分に行ってください。
- 材料、プライマーの選定、副資材の選定、施工要領書の作成をしてください。
- 所定の目地形状・寸法で段差がないようにしてください。
- 被着面は充分養生期間がとられていて、欠陥（ジャンカ、欠け、亀裂）部分がないことが必要です。
- 被着面は充分乾燥させてください。
- サビ、油分、ほこり、モルタルくず、塗料など接着を阻害するものを取り除いてください。
- ウエスで拭きした後、メチルシクロヘキサンなどの溶剤で清掃してください。
- 下記の「バックアップ材およびボンドブレイカー」の表より適切なバックアップ材を選定して使用してください。
- バックアップ材を装てんする場合、所定の位置にねじれ・段差・継ぎ目・傷などがないように注意してください。
- マスキングテープは、その接着剤が被着材に転着しないものを使用してください。
- 貼り付けは被着面に食い込まないように、かつ目地縁に沿って注意して行ってください。
- 適合プライマーの品名を確認して使用してください。
- 塗りむら、塗り残しがないようにハケで充分塗布してください。吸い込みの多い場合は2度塗り・または3度塗りを行ってください。
- プライマーの乾燥後は所定時間内にシーリング材を施工してください。
- 混合は、シーリング材専用混合機械で行ってください。
- 基剤・硬化剤・カラーマスターを全量投入し、均一になるまで10分以上混合してください。
- 混合容器の壁、底部および攪拌翼などの部分は未混合になりやすいので、かき落し後再度練り込んでください。
- 混合したシーリング材は、可使用時間内にコーキングガンによって目地へ充てんしてください。
- 目地底にコーキングガンのノズルを当て、ゆっくりと充分に充てんしてください。
- シーリング材充てん後はすみやかにヘラ仕上げを行ってください。
- 目地幅にあったヘラで、押さえを充分に行い平滑に仕上げてください。
- ヘラ押さえが不充分であると、硬化後にクレーター等が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ヘラ仕上げが終わったらすみやかにマスキングテープを除去してください。

バックアップ材およびボンドブレイカー  
シーリング材が目地の動きに自由に追従できるように2面接着とし、またシーリング材の充てん深さ調節のためにバックアップ材を使用します。なお、目地が浅い場合には、ボンドブレイカー（接着防止テープ）を目地底に貼り付けてシーリング材を2面接着とします。代表的なバックアップ材ボンドブレイカーの例を示します。

●バックアップ材

使用箇所	形状・材質	バックアップ材の形状	備考
PCa板、または目地底のない場合	丸型ポリエチレン発泡体	目地幅×1.2~1.3	装てん直後にシーリング材を充てんするとふくれることがありますのでご注意ください。
金属目地、または目地底のある場合	角形ポリエチレン発泡体	のり目地幅より1~2mm小さいもの のり目地幅×1.1~1.2	
ガラスまわり	クロロプレナム、EPTゴム、ポリエチレン独立気泡発泡体	目地幅×1.1~1.2	シーリング材に変色などの悪影響を及ぼさないもの。

●ボンドブレイカー

使用箇所	シーリング材	材質	形状
目地が浅い場合	シリコン系 変成シリコン系 ポリイソブチレン系	ポリエチレンテープ ポリエチレン被覆テープ	目地幅より小さいもの
	ポリサルファイド系 ポリウレタン系 アクリルウレタン系	シリコン被覆テープ ポリエチレンテープ ポリエチレン被覆テープ	

■標準施工量

ボンド PSシール 1L当たりの概算施工メーター数

深さ(シール厚)	目地幅			
	10mm	15mm	20mm	25mm
10mm	8.3	5.6	4.2	—
15mm	—	—	2.8	2.2
20mm	—	—	—	1.7

※数量には20%のロスを含んでおり、状況に応じて増減する場合があります。

シールプライマー1缶(500g)当たりの概算施工メーター数

深さ(シール厚)	目地幅			
	10mm	15mm	20mm	25mm
10mm	多孔質面	88		
	非多孔質面	175		
15mm	多孔質面	58		
	非多孔質面	117		
20mm	多孔質面	44		
	非多孔質面	88		

※数量には30%のロスを含んでおり、状況に応じて増減する場合があります。多孔質は200g/m<sup>2</sup>、非多孔質は100g/m<sup>2</sup>のロスを含みます。

■色調

標準色：ホワイト、グレー、ダークグレー、ニューアイボリー、ニューアンバー、ニューブロンズ、ブラック、ライトグレー、ステンカラー、コンクリートグレー（必ずシールカラーマスターをご使用ください。）

■梱包容量

4Lセット……2セット入り/1ケース（カラーマスターは入っておりません。別途ご注文ください。）

■注意事項

本品の取り扱いには、下記の注意事項を守ってください。より詳細な情報はSDSをお読みください。

●取り扱い中は、できるだけ皮フにふれないようにし、必要に応じて保護具を着用する。特にプライマー使用時には、有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、保護メガネなどを必要に応じて着用する。●容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後処理する。●取り扱いは、手洗いおよびうがいを行う。●皮フに付着した場合には、すみやかにふき取り石ケンと水でよく洗い落とす。●眼に入った場合には、多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受ける。●指定された材料以外と混合しない。●直射日光が当たらない、温度が5~35℃の乾燥した場所を定めて保管する。

〔シールプライマー〕の取り扱いには、それぞれ下記の注意事項も加えて守ってください。  
引火性の液体です。有機溶剤中毒の恐れがあります。使用後も溶剤臭がなくなるまで換気してください。  
皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれや中毒、その他の健康障害を起こす恐れがあります。  
●火気のある場所や、静電気の発生する場所では使用しない。●取り扱い作業場所に局所排気装置を設け、充分に換気する。●容器から出し入れする場合には、こぼれないように注意する。●蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受ける。●使用後は容器のフタを完全に閉める。●火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いる。（火気厳禁 第四類第一石油類 危険等級Ⅱ）

※本品は使用方法・使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。  
※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願いいたします。（記載の性状等は2016年1月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。）

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10<sup>-2</sup>J、1MPa=1N/mm<sup>2</sup>です。1N/mm<sup>2</sup>は約10.2kgf/cm<sup>2</sup>に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社

http://www.bond.co.jp/

大阪本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル) TEL06(6228)2961  
東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) TEL03(5259)5737

名古屋支店 TEL052(217)8624	札幌支店 TEL011(731)0351	高崎営業所 TEL027(324)3002	高松営業所 TEL087(835)2020
福岡支店 TEL092(551)1764	仙台営業所 TEL022(211)5031	金沢営業所 TEL076(223)1565	沖縄営業所 TEL098(884)7521
横浜支店 TEL045(514)2450	栃木営業所 TEL0285(43)1511	広島営業所 TEL082(507)1911	